PATLITE®

ＮＨシリーズ

ネットワーク監視表示灯

NHE-3FB
NHM-3FB

取扱説明書

Rev. 1. 06b

※この取扱説明書は本体ファームウェアVer1. 06に対応しています。

株式会社パトライト

PATLITE Corporation

安全にご使用いただくために

本書においてはNHシリーズを安全にご使用いただくために、注意事項のランクを「危険」「警告」「注意」の3段階に分けて、下記のような教示と図記号で表しています。以下に記したマークを伴っている注意事項は、安全に関する重大な内容について述べていますので、熟読した上で正しくご使用ください。

ランク		内容
⚠危険	危険：DANGER	取り扱いを誤った場合、死亡又は重症を招く差し迫った危険な状況が想定される内容を示します。
⚠警告	警告：WARNING	取り扱いを誤った場合、死亡又は重症を招く可能性がある危険な状況が想定される内容を示します。
⚠注意	注意：CAUTION	取り扱いを誤った場合、軽傷又は中程度の障害を招く可能性のある状況、 及び物理的損害の発生が予測される危険な状況を示します。

項目	ランク	内容
設計上の注意	⚠警告	●人命や機器の破損にかかわるところや、緊急用の通信部に使用しないでください。 また、本器の誤動作に対応できるシステム設計をおこなってください。
	⚠注意	●各通信ケーブルは、動力線と一緒に束ねたり、近接した配線にしないでください。 ノイズによる通信エラーの原因となります。 ●原子力関連及び、公共重要設備へのご使用につきましては、弊社営業へご相談ください。
取り付け上の注意	⚠注意	●本器はマニュアル記載の一般仕様の環境で使用してください。 ●一般仕様以外の環境で使用すると、火災、誤動作、製品の破損、あるいは劣化の原因になります。 ●下記のような場所に使用しないでください。故障、火災の原因になります。 ・腐食性ガス、可燃性ガス、溶剤、研削液、切削油等に直接触れる場所 ・高温、結露、風雨にさらされる場所 ・振動、塩分、鉄分が多い場所 ・振動、衝撃が直接加わるような場所 ●機器への導入に際して、本器の主電源端子及び基板回路など容易に触れないように正しく取り付けてください。
配線上の注意	⚠危険	●装置の組み立て、ケーブルの接続時には、必ず電源をOFFにしてください。感電や破損のおそれがあります。
	⚠注意	●本器への配線は定格電圧、定格電力を考慮して正しく端子に接続してください。定格外の電源を供給したり、誤配線した場合は製品の破損、故障、火災の原因になります。 ●本器内に導電性遺物が付着または入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。
保守・運転中の注意	⚠危険	●通電中は絶対に端子及び基板回路等に触れないでください。 感電の恐れがあります。
	⚠注意	●本器の修理・分解・改造を㈱パトライト以外、もしくは㈱パトライト指定以外の第三者が行った場合、それが原因で生じた損害等につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

ご　注　意

●本書の内容の一部、または全部を無断で転載する事は禁止されています。
●本書に記載された内容は予告無く変更する場合があります。
●本書の内容については万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、販売店へご連絡ください。
●本製品の運用を理由とする、損失、逸失利益などの請求につきましては、前項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
●本書に記載される会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

概要

1-1 はじめに

このたびは、株式会社パトライト「ネットワーク監視表示灯ＮＨシリーズ」をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本機器は、ｒｓｈ・ＳＮＭＰで簡単に制御が可能です。ネットワーク管理・監視ソフト、サーバ管理・監視ソフトやハード機器と連携して、光と音とメールで即座に異常や障害の発生を管理者にお知らせします。本機器は離れた管理・監視対象機器側または管理・監視機器側のどちらにも設置できます。ご使用に関しては、本書の内容を充分にご理解の上、正しくご使用ください。

1-2 梱包内容

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●構成品	
1.	本体　（1 台）
2.	ＡＣアダプター　（1 個）
3.	ＣＤ－Ｒ　（1 枚）* ＣＤ－Ｒの内容一覧 ・取扱説明書　・・・　manual.pdf ・専用表示灯制御ＭＩＢ　・・・　patlite_NH.mib ・お客様登録用紙/年間保証申込書・・・customer_regist.pdf ・保証契約書　・・・　guarantee.pdf ・修理依頼書　・・・　repair.pdf
4.	ゴム足（４個）
5.	ご使用になる前に　（1 枚）

*本体底面のシリアル番号　『07～』で始まる、8 桁の製品には、CDは添付されておりません。
本体同梱の簡易取説を確認下さい。

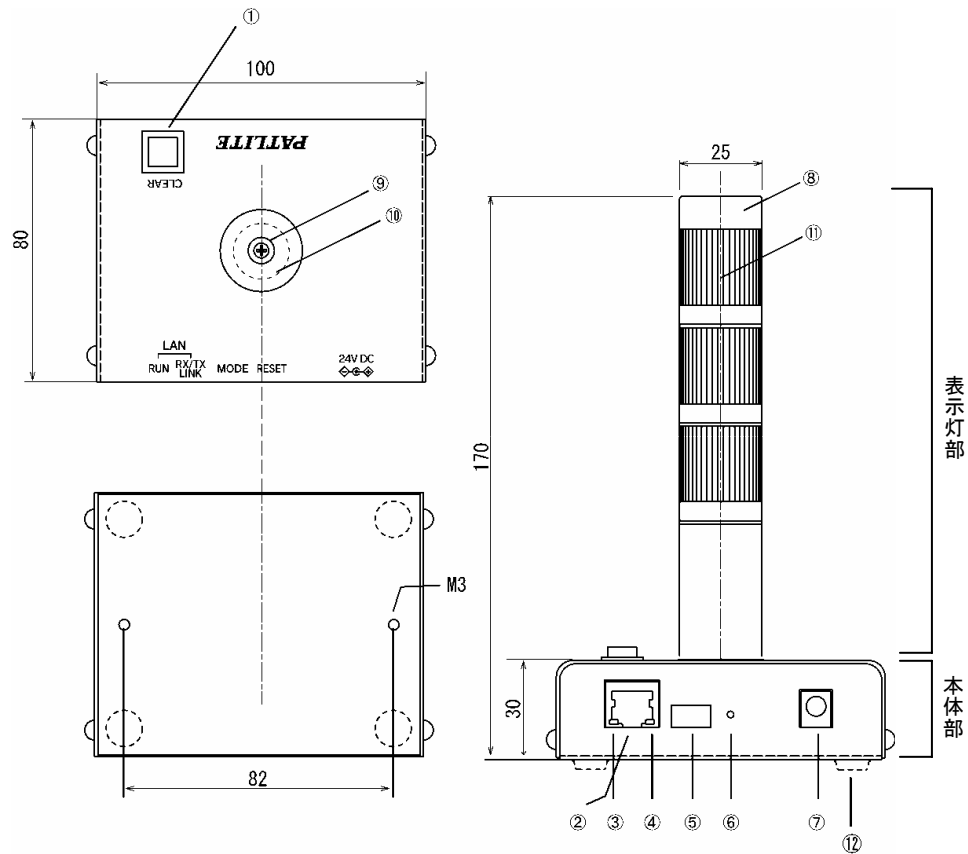
1-3 移動や取り付け上の注意

本機器を移動させる時、表示灯部を持って移動させないでください。
故障やトラブルの原因となりますので、必ず、本体部分を持って移動させるようにしてください。

本機器の設置の際は、机の上などの水平な場所に置いてください。
棚の上など高いところに設置する場合は、落下しないように本体の底部にあるネジ穴を利用してネジで固定してください。
本機器は、水やお湯などのかからないところに設置してください。

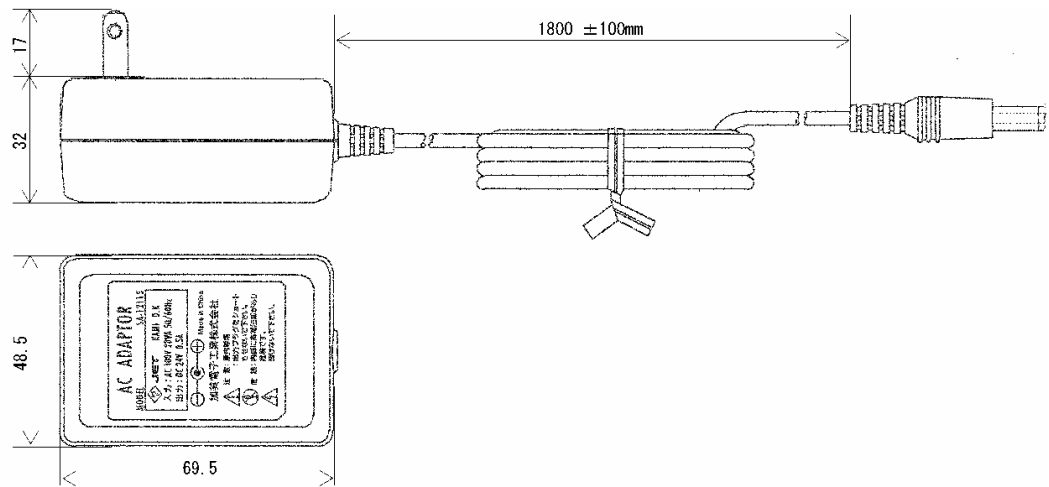
本機器（本体、ＡＣアダプター、ＣＤおよびゴム足）は乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談下さい。

1-4 外観と各部の名称と製品仕様

ＮＨＥ－３ＦＢ（本体）　（寸法単位：ｍｍ）

①ＣＬＥＡＲスイッチ
②ＬＡＮインタフェース（ＲＪ４５コネクタ）
③ＲＵＮ表示ＬＥＤ
④ＬＩＮＫ表示ＬＥＤ
⑤ＭＯＤＥスイッチ
⑥ＲＥＳＥＴスイッチ
⑦電源コネクタ
⑧ヘッドキャップ　　⑪ＬＥＤユニット
⑨センターネジ　　⑫ゴム足（付属品）
⑩カバーシール

ＮＨＭ－３ＦＢ（本体）　（寸法単位：mm）

①ＣＬＥＡＲスイッチ
②ＬＡＮインタフェース（ＲＪ４５コネクタ）
③ＲＵＮ表示ＬＥＤ
④ＬＩＮＫ表示ＬＥＤ
⑤ＭＯＤＥスイッチ
⑥ＲＥＳＥＴスイッチ
⑦電源コネクタ
⑧ヘッドキャップ
⑨センターネジ
⑩カバーシール
⑪ＬＥＤユニット
⑫ゴム足（付属品）

ＡＣアダプター（ＮＨＥ/ＮＨＭ共通・付属品）

1-5 製品仕様

<table>
<tr><th colspan="2">機　　種　　名</th><th>ＮＨＥ－３ＦＢ－ＲＹＧ</th><th>ＮＨＭ－３ＦＢ－ＲＹＧ</th></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">電源部</td></tr>
<tr><td colspan="2">定　格　電　圧</td><td colspan="2">本体：DC 24V、AC アダプタ：AC 100V</td></tr>
<tr><td colspan="2">定 格 周 波 数</td><td colspan="2">50 / 60 Hz</td></tr>
<tr><td colspan="2">定 格 消 費 電 力</td><td>10.5 W</td><td>13.5 W</td></tr>
<tr><td colspan="2">動　作　温　度</td><td colspan="2">0～50℃(AC アダプタ除く)</td></tr>
<tr><td colspan="2">保　存　温　度</td><td colspan="2">－10～60℃</td></tr>
<tr><td colspan="2">相　対　湿　度</td><td colspan="2">20～80%（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td colspan="2">使　用　環　境</td><td colspan="2">屋内専用</td></tr>
<tr><td rowspan="2">質　　量</td><td>本体および表示灯部</td><td>0.37 kg</td><td>0.58 kg</td></tr>
<tr><td>AC アダプタ</td><td colspan="2">0.13 kg</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外 形 寸 法
（W、H、D）</td><td>本　体　部</td><td>100×170×80 (mm)</td><td>100×262×80 (mm)</td></tr>
<tr><td>表 示 灯 部</td><td>φ25</td><td>φ60</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">LAN インターフェース仕様</td></tr>
<tr><td colspan="2">物　　理　　層</td><td colspan="2">10BASE-T/100BASE-TX (IEEE802.3/IEEE802.3u)</td></tr>
<tr><td colspan="2">デ ー タ リ ン ク 層</td><td colspan="2">CSMA/CD</td></tr>
<tr><td colspan="2">ネ ッ ト ワ ー ク 層</td><td colspan="2">IP、ICMP、ARP</td></tr>
<tr><td colspan="2">ト ラ ン ス ポ ー ト 層</td><td colspan="2">TCP、UDP</td></tr>
<tr><td colspan="2">ア プ リ ケ ー シ ョ ン 層</td><td colspan="2">HTTP、SNMP、RSH、SMTP、POP、SNTP、TFTP</td></tr>
<tr><td colspan="2">通　　信　　速　　度</td><td colspan="2">10 Mbps / 100 Mbps</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">LED 表示灯仕様</td></tr>
<tr><td colspan="2">点　滅　周　期</td><td colspan="2">60 回/分</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">ブザー仕様</td></tr>
<tr><td colspan="2">吹 鳴 パ タ ー ン １</td><td colspan="2">ピ・ピ・ピ・ピ・ピ・ピ</td></tr>
<tr><td colspan="2">吹 鳴 パ タ ー ン ２</td><td colspan="2">ピー・ピー・ピー</td></tr>
<tr><td colspan="2">音　圧　レ　ベ　ル</td><td colspan="2">高：80dB at 1m 以上 ／ 低：70dB at 1m 以下　切替</td></tr>
</table>

1-6 本機器でできること

本機器は、異常検出時に表示灯を点灯させたり、ブザーを鳴らすことができます。

・異常検出時に、メールやＳＮＭＰトラップにより通知することができます。
・リモートシェル(ｒｓｈ)コマンドにより表示灯を制御することができます。
・ｐｉｎｇによってネットワーク機器を監視することができます。
・ＳＮＭＰトラップを検出することができます。
・コンフィグ設定をファイルに書き込んだり、ファイルから読み込んだりできます。

本機器は、ＬＥＤユニットを追加、組替えすることができます。「８　補修部品」を参照して、必要なＬＥＤユニット、センターネジ、カバーシールをご購入いただき、「９　色配列組替え方法」を熟読の上、組替え作業を行ってください。
最大で５段５色まで追加できます。同色のＬＥＤユニットは、１台あたり３段までしか組み合わせできません。本機器の制御について本書では、５段５色に対応した説明を行っています。
各ＬＥＤユニット１段あたりの定格消費電力は以下の表のとおりです。

<table>
<tr><th colspan="3">機　　種　　名</th><th>ＮＨＥ型</th><th>ＮＨＭ型</th></tr>
<tr><td rowspan="5">定格消費電力</td><td rowspan="5">表 示 灯 部
(LED ユニット
１段あたり)</td><td>赤</td><td>1.2 W</td><td>2.6 W</td></tr>
<tr><td>黄</td><td>1.2 W</td><td>2.6 W</td></tr>
<tr><td>緑</td><td>1.0 W</td><td>1.0 W</td></tr>
<tr><td>青</td><td>1.0 W</td><td>1.0 W</td></tr>
<tr><td>白</td><td>1.0 W</td><td>1.0 W</td></tr>
</table>

2

接続

2-1 電源の投入

ＡＣアダプタを本機器に接続した後、ＡＣ 100Ｖのコンセントに接続してください。本機器には電源スイッチがありません。電源ケーブルをコンセントに接続した時点で本体に電源が投入されます。電源投入から本体が起動するまで（通信できるようになるまで）約 20 秒かかります。
起動しますと本体部のＲＵＮ表示ＬＥＤが、点滅することを確認してください。

2-2 ＬＡＮへの接続

カテゴリ 5 対応ツイストペアケーブル（UTP または STP）を用いてください。
本機器を HUB と接続する場合はストレートケーブルを、PC と直接接続する場合はクロスケーブルを使用してください。
初めて本機器にアクセスする場合や、他のネットワークに設置してあったものを移動してきた場合は、ＩＰアドレスの設定作業が必要になります。

2-3 ＩＰアドレスの設定

本機器の工場出荷時のＩＰアドレスは 192.168.10.1 です。設定に使用するＰＣのＩＰアドレスを 192.168.10.2から 192.168.10.254 までの間で自由に変更してください。また、ネットマスク（サブネットマスク）を 255.255.255.0 に設定し、表示灯と設定用ＰＣを接続してください。

ＰＣのＷｅｂブラウザからＩＰアドレスを指定して接続し、画面に従い各種設定を行います。
各種設定の詳細は「５ Ｗｅｂからのアクセス」を参照してください。

Ｗｅｂブラウザの対応バージョン

Internet Explorer 5.5 SP2 ～ 6
Netscape 6.2 ～ 7.1

イベントログ画面を表示するにはＪＡＶＡがインストールされている必要があります。

2-4 オートネゴシエーション機能

本機器は、100BASE-TX/10BASE-T に対応しており、ネットワーク環境に合わせて、通信速度が自動設定される仕組みになっております。

ＬＡＮケーブルの抜き差しを行なった後に通信が回復されなかった場合は、本体をリセットしてください。

10BASE-T 固定で通信を行いたい場合、電源投入後、約 30 秒待ってからＲＵＮ表示ＬＥＤが点滅し始めるのを確認後、ＬＡＮケーブルを接続してください。

動作モード

3-1 動作モードの切替え

表示灯の動作モードはＭＯＤＥスイッチによって切替えることが可能です。

ＭＯＤＥスイッチの各ピンの機能は、以下のように定義されています。

各ピンの機能

ピン No.	用途
1	動作モードの切替え
2	
3	
4	ブザー音量（高⇔低）の切替え

（＊）通電中のＭＯＤＥスイッチ切替えはピン No.4 を除き無効。

動作モードの定義

ピン状態			動作モード
No.1	No.2	No.3	
OFF	OFF	OFF	通常運転モード
ON	OFF	OFF	テストモード
OFF	ON	OFF	初期化モード１ （IP アドレスおよびログインパスワードの初期化）
OFF	OFF	ON	初期化モード２ （工場出荷状態に初期化）
ON	ON	ON	ファームウェア更新モード

ブザー音量の定義

ピン No.4	ブザー音量
OFF	低
ON	高

(注)ＭＯＤＥスイッチの切替えは必ず電源を切ってから行い、設定が完了してから電源を入れてください。通電中にＭＯＤＥスイッチを切替えた場合には、動作モードは変更されません。

3-2 通常運転モード

通常運用時はＭＯＤＥスイッチを通常運転モードにして使用します。

3-3 テストモード

本体電源投入後、セルフテスト（メモリチェック、ネットワークのループバックテスト、表示灯点灯チェック、ブザー吹鳴チェック）を行います。

手順：

（１）　電源を切る（コンセントからＡＣアダプターを抜く）。

（２）　ＭＯＤＥスイッチをテストモードに設定する。

（３）　電源を入れる（コンセントにＡＣアダプターを差し込む）。
本体背面部のＲＵＮ　ＬＥＤが点滅する。

（４）　メモリチェックが行われる。正常終了すると表示灯全段点灯する。

（５）　ネットワークのループバックテストが行われる。正常終了するとブザーが吹鳴する。

（６）　表示灯が全段消灯し、ブザー吹鳴が停止する。

（７）　赤⇒黄⇒緑⇒青⇒白の順に点灯する（ＬＥＤユニットが装着されている場合）。

（８）　全段点灯後、ブザーが吹鳴する。
（本体のＣＬＥＡＲスイッチが押下されるまで、この状態を保持する。）

（９）　ＣＬＥＡＲスイッチを押下する（0.5 秒以上）と表示灯が全段消灯し、ブザー吹鳴が停止する。

テスト完了後は、電源を切った後、ＭＯＤＥスイッチを通常運転モードにして電源を再度入れてください。

（注）ＬＡＮケーブルを接続したままでもテストは可能です。

3-4 初期化モード１ （ＩＰアドレスおよびログインパスワードの初期化）

ＩＰアドレス（ネットマスク、デフォルトゲートウェイ含む）およびログインパスワードの初期化を行います。

手順：

（１）電源を切る（コンセントからＡＣアダプターを抜く）。

（２）ＭＯＤＥスイッチを初期化モード１に設定し、電源を入れる（コンセントにＡＣアダプターを差し込む）。

（３）本体背面部のＲＵＮ ＬＥＤが点滅することを確認する。

（４）（しばらくの後）ＲＵＮ ＬＥＤの点滅が止まり、点灯することを確認する。

（５）（更にしばらくの後）ＲＵＮ ＬＥＤが再び点滅することを確認する。

（６）点滅確認後、電源を切る（コンセントからＡＣアダプターを抜く）。

（７）ＭＯＤＥスイッチを通常運転モードに設定し、電源を入れる（コンセントにＡＣアダプターを差し込む）。

（８）ＩＰアドレス等の設定を行う（「５－３ システム設定画面」参照）。

（初期ＩＰアドレス：192.168.10.1 初期ログインパスワード：空白）。

3-5 初期化モード２（工場出荷状態に初期化）

全設定値を工場出荷状態に初期化します。

手順：

（１）電源を切る（コンセントからＡＣアダプターを抜く）。

（２）ＭＯＤＥスイッチを初期化モード２に設定し、電源を入れる（コンセントにＡＣアダプターを差し込む）。

（３）本体背面部のＲＵＮ ＬＥＤが点滅する。

（４）（しばらくの後）ＲＵＮ ＬＥＤの点滅が止まり、点灯することを確認する。

（５）（更にしばらくの後）ＲＵＮ ＬＥＤが再び点滅することを確認する。

（６）点滅確認後、電源を切る（コンセントからＡＣアダプターを抜く）。

（７）ＭＯＤＥスイッチを通常運転モードに設定し、電源を入れる。

（８）ＩＰアドレス等の設定を行う（「５－３ システム設定画面」参照）。

（初期ＩＰアドレス：192.168.10.1 初期ログインパスワード：空白）

3-6 ファームウェア更新

本機器のファームウェアを更新します。

ファームウェア更新完了後は、工場出荷状態への初期化を行った後、通常運転モードにして運用してください。

手順：

（１）　電源を切る（コンセントからＡＣアダプターを抜く）。

（２）　ＭＯＤＥスイッチをファームウェア更新モードに設定し、電源を入れる（コンセントにＡＣアダプターを差し込む）。

（３）　本体背面部のＲＵＮ　ＬＥＤが点滅し、ＬＩＮＫ　ＬＥＤが点灯する。

（４）　ＴＦＴＰクライアントから更新用ファイルを本機器に転送する。

（５）　更新用ファイルの転送が始まるとＬＩＮＫ　ＬＥＤが点滅し、ＲＵＮ　ＬＥＤが点灯する。

（６）　更新用ファイルの転送が終了するとＬＩＮＫ　ＬＥＤが点灯する。

（７）　ファームウェア更新処理が完了するとＲＵＮ　ＬＥＤが点滅する。

（８）　ＲＵＮ　ＬＥＤの点滅確認後、電源を切る（コンセントからＡＣアダプターを抜く）。

（９）　ＭＯＤＥスイッチを初期化モード２に設定し、電源を入れる（コンセントにＡＣアダプターを差し込む）。

（１０）　本体背面部のＲＵＮ　ＬＥＤが点滅する。

（１１）（しばらくの後）ＲＵＮ　ＬＥＤの点滅が止まり、点灯することを確認する。

（１２）（更にしばらくの後）ＲＵＮ　ＬＥＤが再び点滅することを確認する。

（１３）　電源を切る（コンセントからＡＣアダプターを抜く）。

（１４）　ＭＯＤＥスイッチを通常運転モードに設定し、電源を入れる（コンセントにＡＣアダプターを差し込む）。

（１５）　ＩＰアドレス等の設定を行う。
（初期ＩＰアドレス：192.168.10.1　初期ログインパスワード：空白）

（注）ファームウェア更新時は、10Base で通信を行います。

4

各スイッチの機能

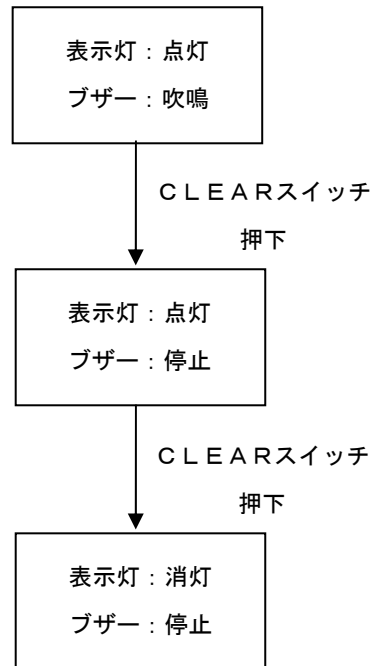
4-1 ＣＬＥＡＲスイッチ

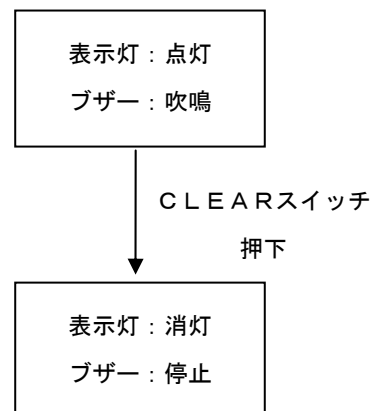
本体上面にあるＣＬＥＡＲスイッチを押下すると、強制的に表示灯を消灯させ、ブザーを停止させます。押下時間は約 0.5 秒以上です。ＣＬＥＡＲスイッチの動作には以下の 2 つのモードがあります。

（１） ２段階クリア

ブザー吹鳴していればブザーだけを停止させる。表示灯は消灯しない。

ブザー吹鳴していなければ、表示灯を消灯させる。

スイッチ復帰後約 2 秒以上あけなければスイッチ押下しても動作しません。

（２）一括クリア

表示灯を消灯させ、ブザーを停止させる。

4-2 ＲＥＳＥＴスイッチ

ＲＥＳＥＴスイッチを押下すると、本機器は再起動します。

各種設定内容は保存されているため消去されませんが、イベントログが消去され、時刻情報が工場出荷時に戻ります。

電源の入切での再起動の場合も同様に、イベントログが消去され、時刻情報が工場出荷時に戻ります。

（注）ＲＥＳＥＴスイッチは壊れやすいので、先のとがったもので強く押さないでください。

Ｗｅｂからの
アクセス

5-1 ログイン

本機器は、Ｗｅｂブラウザにより状態表示、設定変更などを行うことができます。

下記の手順にしたがって、本機器にログインしてください。

1. Ｗｅｂブラウザからログインするためには、本機器に設定したＩＰアドレスをＷｅｂブラウザアドレス部分に入力します。
   工場出荷時のＩＰアドレスは、「192.168.10.1 」となっております。
2. 下図のようなログイン画面が表示されます。
   ユーザ名は、「patlite（半角、小文字）」を入力してください。
   工場出荷時のパスワードは、設定されておりません。
   そのまま「ログイン」ボタンをクリックします。

画面が表示されない時は、通信条件「２　接続」を参照して、設定に間違いがないかどうかをよく確認してください。

プロキシサーバをご使用の場合は、Ｗｅｂブラウザの設定によりプロキシを使用しない例外として本機器のＩＰアドレスを設定してください。

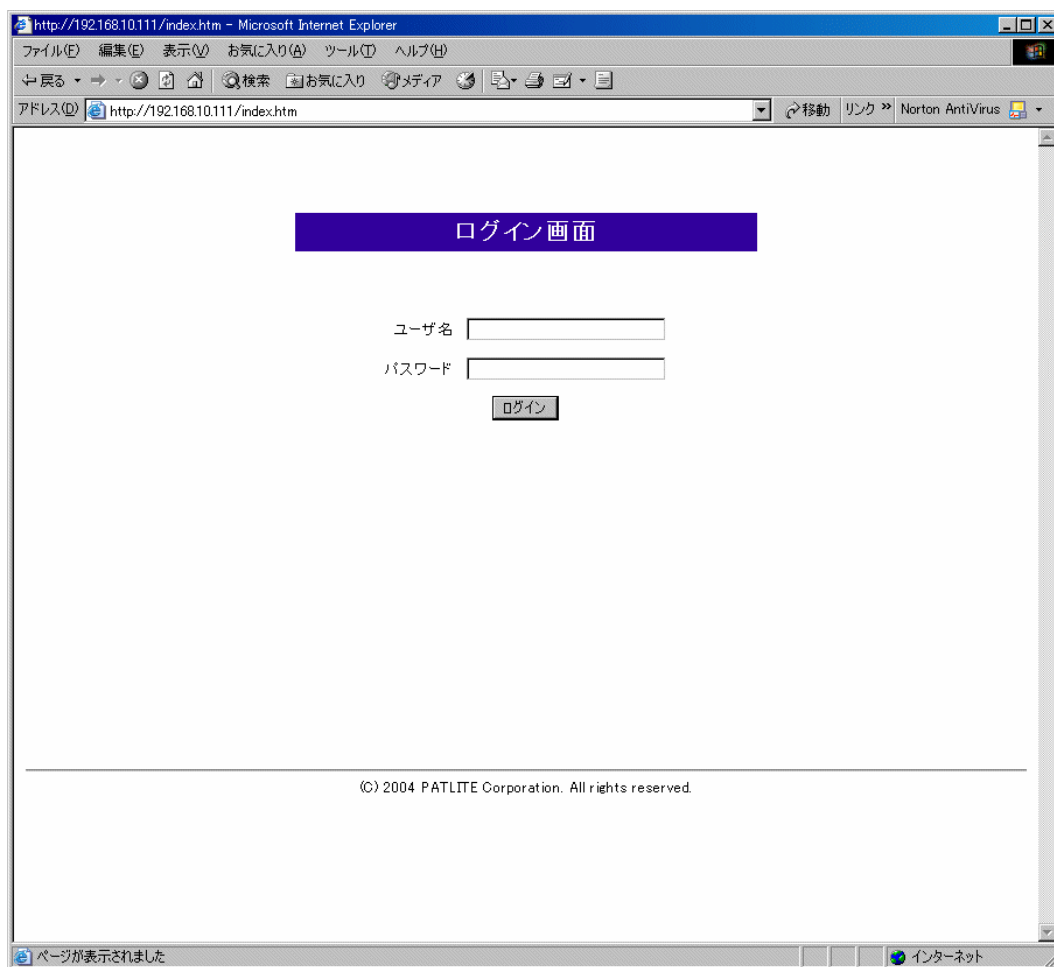
ログイン後のＷｅｂ画面が正常に表示されない場合は、JavaScript が有効に設定されていることを確認してください。

http://192.168.10.111/index.htm - Microsoft Internet Explorer
アドレス(D) http://192.168.10.111/index.htm

ログイン画面

ユーザ名
パスワード
ログイン

(C) 2004 PATLITE Corporation. All rights reserved.

ページが表示されました　インターネット

ログインユーザ数の制限：
　本製品は、同時に二人以上、ログインすることはできません。

5-2 ログアウト

ログアウトするには、左側メニューから［ログアウト］ボタンを押します。
ログアウトすると、ログイン画面が表示されます。

自動ログアウト：
　本製品は、長時間（約 10 分間）ログインしたまま放置すると、タイムアウトになり、自動ログアウトされます。
　また、ログアウトせずに、Ｗｅｂブラウザを閉じてしまうと、タイムアウトになるまで、別の端末からアクセスすることはできませんので、ご注意ください。

タイムアウト後Ｗｅｂブラウザで設定を試みた場合は、「Access denied」と表示されます。その際は、再度ログインしなおしてください。

5-3 システム設定画面

システムに関する各情報の表示や変更を行います。

画面の説明		
システム情報	本機器のシステム情報を設定します。	
	ファームウェアバージョン	本機器のファームウェアバージョンを表示します。
	システム名称	システム名称を設定できます。 この情報は、メールにも添付されます。（※1）
	システム設置場所	システム設置場所を設定できます。この情報は、メールにも添付されます。（※1）
	連絡先	トラブル発生時などの連絡先を設定します。この情報は、メールにも添付されます。（※1）

※1　内容はお客様が、任意に書き込みができます。
　入力制限：　最大 63 文字。
　入力可能文字：　半角の英数字、アンダースコア（ ＿ ）、ハイフン（ － ）、
　　　　　　　　　アットマーク（ ＠ ）、ピリオド（ ． ）

<table>
<tr><th colspan="3">画面の説明</th></tr>
<tr><td rowspan="5">ネットワーク設定</td><td colspan="2">本機器のネットワークに関する情報の表示や設定を行います。ブラウザからアクセスするために設定します。</td></tr>
<tr><td>ＭＡＣアドレス</td><td>ＭＡＣアドレスを表示します。</td></tr>
<tr><td>本体ＩＰアドレス（※2）</td><td>表示灯本体のＩＰアドレスを設定します。
ブラウザからアクセスする時、このＩＰアドレスを使用します。
デフォルト値：「192.168.10.1」</td></tr>
<tr><td>ネットマスク（※2）</td><td>ネットマスクを設定します。
デフォルト値：「255.255.255.0」</td></tr>
<tr><td>デフォルトゲートウェイ（※2）</td><td>デフォルトゲートウェイのＩＰアドレスを設定します。
不明な場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。
デフォルト値：「0.0.0.0」</td></tr>
<tr><td>設定ボタン</td><td colspan="2">入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定ボタンをクリックする前にキャンセルボタンをクリックすると変更箇所が入力前に戻ります。</td></tr>
</table>

※2　これらの項目に関する設定変更は、本体再起動後に反映されます。

5-4 時刻設定画面

本機器は、内部電池を持っていないため、電源の入切や再起動を行うと、時刻情報が消去されてしまいます。
そのため、手動で時刻を設定したり、タイムサーバの設定をしたりする必要があります。

画面の説明		
時刻設定	装置時刻	現在の本機器の装置時刻を表示します。初期状態では、1970/01/01 の時刻が表示されます。
	手動時刻設定ボタン	現在アクセス中のコンピュータのシステム時刻を装置時刻として設定します。
タイムサーバ	サーバアドレス	タイムサーバが稼動中のコンピュータのＩＰアドレスを指定します。
	時間補正間隔（分）	定期的にタイムサーバにアクセスして時間補正を行う間隔（分）を設定します。 0（ゼロ）をセットすると、タイムサーバにアクセスしません。 デフォルト値：10分 入力範囲：0～10000
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定ボタンをクリックする前にキャンセルボタンをクリックすると変更箇所が入力前に戻ります。	

5-5 ユーザ設定画面

ログインユーザのパスワード設定を行います。

画面の説明		
ユーザ設定	ログイン名	デフォルト値：「patlite」です。 変更はできません。
	パスワード（※1）	ログイン時のパスワードを設定します。
	確認パスワード （※1）	入力したログインパスワードが間違いないことを確認するため、再度、同じパスワードを入力してください。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定ボタンをクリックする前にキャンセルボタンをクリックすると変更箇所が入力前に戻ります。	

※1　入力制限：　最大 15 文字。
　　入力可能文字：　半角の英数字

5-6　ＳＮＭＰ設定

ＳＮＭＰ機能に関する設定を行います。

画面の説明		
コミュニティ名	ＳＥＴコミュニティ（※1）	ＳＮＭＰ（マネージャなど）を使用し、本機器の各設定値をＳＥＴする際に使用するコミュニティ名を設定します。 この設定値が合致しないと、ＳＮＭＰ（マネージャなど）によるＳＥＴを受け付けません。 デフォルト値：「private」
	ＧＥＴコミュニティ（※1）	ＳＮＭＰ（マネージャなど）を使用し、本機器の各設定値をＧＥＴする際のコミュニティ名を設定します。 この設定値が合致しないと、ＳＮＭＰ（マネージャなど）によるＧＥＴを受け付けません。 デフォルト値：「public」
	ＳＮＭＰ機能（※2）	ＳＮＭＰの有効・無効を設定します。ＳＮＭＰによるＳＥＴ、ＧＥＴ、ＴＲＡＰ送受信機能に影響します。 デフォルト値：「有効」

画面の説明	
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。

※1　入力制限：　最大 31 文字。
　　入力可能文字：　半角の英数字

※2　これらの項目に関する設定変更は、本体再起動後に反映されます。

5-7　ｒｓｈサーバ設定画面

ｒｓｈ（リモートシェル）でアクセス可能なホスト（ＩＰアドレス）およびログイン名などを設定します。

画面の説明		
ｒｓｈサーバ	ｒｓｈサーバ機能（※1）	ｒｓｈ（リモートシェル）機能の有効・無効を設定します。 デフォルト値：「有効」
	ＴＲＡＰ送信	ｒｓｈコマンドが実行された時、「送信ＴＲＡＰ設定」で登録された送付先へｒｓｈコマンドが実行されたことを通知する機能です。 デフォルト値：「無効」
	メール送信	ｒｓｈコマンドが実行された時、「メール設定」で登録された送信先アカウントへｒｓｈコマンドが実行されたことを通知する機能です。 デフォルト値：「無効」

※1　これらの項目に関する設定変更は、本体再起動後に反映されます。

画面の説明		
接続許可制限	ＩＰアドレス	ｒｓｈコマンドの実行を受け付けるクライアントのＩＰアドレスを指定します。
	ログイン名（※2）	ｒｓｈコマンドの実行権限を持つユーザ名を指定します。 クライアントのＩＰアドレスとこのログイン名が合致しなければ、ｒｓｈコマンドは実行されません。 ｒｓｈコマンドの実行例は、コマンドリファレンスを参照してください。
	No.9 から No.16 へ （No.1 から No.8 へ）	ｒｓｈコマンドの実行を許可するクライアントは、最大 16 台登録可能です。残り No.9 から No.16 への登録は、「No.9 から No.16 へ」リンクをクリックして行ってください。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。	

※2　入力制限：　最大 15 文字。
　　入力可能文字：　半角の英数字、アンダースコア（ ＿ ）、ハイフン（ － ）、
　　　　　　　　　アットマーク（ ＠ ）、ピリオド（ ． ）

※3　ｒｓｈコマンドを実行するコンピュータのログインユーザ名は、31 文字以内である必要があります。

＜PRSH コマンド＞

本製品専用コマンド「PRSH for Windows」を使用すれば、下記、制御が可能になります。

・表示灯の検索。リスト作成機能。

・リスト化した表示灯の一斉制御。

・SNMP による表示灯制御。

・指定時刻にコマンド実行。

・イベントログの取り出し。

・その他、タイムアウトやリトライなど詳細設定。

※ PRSH コマンドは、オプション品です。詳細については、別途、お問合せください。

5-8 メール設定画面

メールによる通報に関する各情報の設定を行います。

画面の説明		
サーバ設定	メールサーバ	現在設定されているＳＭＴＰ サーバを設定します。 ＩＰアドレスで指定してください。 デフォルト値：「0.0.0.0」
	ＰＯＰサーバ	現在設定されているＰＯＰ サーバを設定します。 ＩＰアドレスで指定してください。 デフォルト値：「0.0.0.0」
	ＰＯＰ認証ＩＤ （※1）（※2）	ＰＯＰ認証のためのユーザ ID を設定します。 入力文字数制限：最大 63 文字。
	ＰＯＰ認証パスワード （※1）（※2）	ＰＯＰ認証のためのユーザパスワードを設定します。 入力文字数制限：最大 31 文字。

※1　メールサーバが POP before SMTP を利用していない場合は、ＰＯＰ認証ＩＤ、ＰＯＰ認証パスワードを登録しないでください。

※2　入力可能文字：　半角の英数字、アンダースコア（ ＿ ）、ハイフン（ － ）、アットマーク（ ＠ ）、ピリオド（ ． ）

画面の説明		
送信設定	送信元ＩＤ	メール本文に記載する送信元ＩＤを設定します。 システム設定で登録されている本体ＩＰアドレスか、システム名称のいづれかを指定します。
	添付ログ件数（0-10）	メールに添付するイベントログの件数を指定します。 最新のログから指定された件数のイベントログを添付します。 デフォルト値：１件
	送信元アカウント （※3）（※4）	送信元のメールアカウントを設定します。 入力文字数制限：最大63文字。
	送信先アカウント	メールの送信先を設定します。 8件の送付先を設定できます。 入力文字数制限：最大63文字。
	メッセージ登録画面へ	「メッセージ登録画面へ」をクリックすると、メールに記載するメッセージ内容を登録する画面が表示されます。詳しくは、次項を参照してください。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。	

※3　ご使用のメールサーバによっては、存在しないアカウントからの送信は受け付けられない場合があります。メールサーバの管理者に確認して設定を行ってください。

※4　入力可能文字：　半角の英数字、アンダースコア（　＿　）、ハイフン（　－　）、
アットマーク（　＠　）、ピリオド（　．　）

5-9 メッセージ登録画面

メールに記載するメッセージ内容を登録します。
各イベント毎にメールに記載するメッセージを設定することができます。

画面の説明		
メッセージ	ＴＲＡＰ受信	本機器がＴＲＡＰを受信した時のメッセージ。
	本体スイッチ押下	本体のＣＬＥＡＲボタンが押下された時のメッセージ。
	ＳＮＭＰ	ＳＮＭＰ（マネージャなど）により、表示灯やブザー音がクリアされた時のメッセージ。
	ｒｓｈコマンド実行	ｒｓｈコマンドにより、表示灯やブザー音がクリアされた時のメッセージ。
	無応答	設定回数連続してｐｉｎｇ応答がなかった時のメッセージ。
	応答再開	一旦、無応答状態になった後、再度、ｐｉｎｇに応答するようになった時のメッセージ。
	ｒｓｈコマンド	ｒｓｈコマンドが実行された時のメッセージ。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。	

（注）登録メッセージの文字数は、それぞれ全角 30 文字、半角 60 文字以内としてください。
　　半角「￥」マークは使用できません。

＜メールの受信例＞
指定されたＴＲＡＰを受信した時、送信されてきたメールの内容例です。

```
From: <nw@patlite.jp>
To: <nw@patlite.jp>
Sent: Saturday, January 01, 2000 12:02 AM
Subject: Message from Signal Tower

  システム設置場所  :
  送信元 ID         :  192.168.10.1
  連絡先            :  nw@patlite.jp
  メッセージ        :  トラップを受信しました
  付帯情報          :  192.168.10.2
  2000/09/01 00:02:45    11  01  192.168.10.2
  2000/09/01 00:00:40    13  01  000000 0
  2000/09/01 00:00:28    13  01  002000 0
  2000/09/01 00:00:05    01  00  -
```

添付ログ

イベント番号　サブ番号　詳細情報

メール本文には、システム情報、イベントに関する内容（メッセージ）、
イベントログ（添付ログ）が記載されます。
添付ログの内訳は、イベント発生日時・イベント番号・サブ番号・詳細情報で、
添付されるログの件数は、「5-8 メール設定」で行います。

添付ログは、イベント番号とサブ番号・詳細情報により、発生したイベントの
情報を表します。それぞれの番号の意味は、下記の通りです。

イベント番号	サブ番号	詳細情報と各番号の説明
01	00	本体電源が投入さたことを表します。
03	00	SNMPにより不正アクセスされたことを表します。
07	01	メール送信が設定されている時、メールサーバとの通信において、タイムアウトになったことを表します。
07	02	メール送信が設定されている時、メールサーバとの通信において、サーバに接続できなかったことを表します。
07	03	メール送信が設定されている時、POP認証に失敗したことを表します。
10	00	ｐｉｎｇ監視異常が発生（指定回数連続してｐｉｎｇ応答がない）したことを表します。詳細情報として、ｐｉｎｇ監視相手先のＩＰアドレスを添付します。
10	01	ｐｉｎｇ監視異常が発生後、ｐｉｎｇ応答が回復したことを表します。詳細情報として、ｐｉｎｇ監視相手先のＩＰアドレスを添付します。

イベント番号	サブ番号	詳細情報と各番号の説明
11	※1	指定されたＴＲＡＰを受信したことを表します。詳細情報として、ＴＲＡＰの送信元ＩＰアドレスを添付します。
12	01	本体のＣＬＥＡＲスイッチが押下されたことを表します。
12	02	ＳＮＭＰにより､本体の表示灯クリア処理が実行されたことを表します。
12	03	ｒｓｈコマンドにより、本体の表示灯クリア処理が実行されたことを表します。
13	※2	ｒｓｈのａｌｅｒｔコマンドが実行されたことを表します。 詳細情報として､ａｌｅｒｔコマンドのコマンドオプションを添付します。
13	20	ｒｓｈのｓｔａｔｕｓコマンドが実行されたことを表します。
13	21	ｒｓｈのｔｅｓｔコマンドが実行されたことを表します。
14	01	ＳＮＭＰにより､赤色の表示灯が制御されたことを表します。詳細情報として､制御元のＩＰアドレスを添付します。
14	02	ＳＮＭＰにより､黄色の表示灯が制御されたことを表します。詳細情報として､制御元のＩＰアドレスを添付します。
14	03	ＳＮＭＰにより､緑色の表示灯が制御されたことを表します。詳細情報として､制御元のＩＰアドレスを添付します。
14	04	ＳＮＭＰにより､青色の表示灯が制御されたことを表します。詳細情報として､制御元のＩＰアドレスを添付します。
14	05	ＳＮＭＰにより､白色の表示灯が制御されたことを表します。詳細情報として､制御元のＩＰアドレスを添付します。
14	06	ＳＮＭＰにより､ブザーが制御されたことを表します。詳細情報として､制御元のＩＰアドレスを添付します。

※1　受信したＴＲＡＰの内容を「5-11 受信ＴＲＡＰ設定」の設定番号により表します。
※2　ｒｓｈコマンドを実行したサーバ情報として、「5-7 ｒｓｈサーバ設定」の設定番号を記述します。

5-10 送信ＴＲＡＰ設定画面

ＳＮＭＰ ＴＲＡＰによるイベント通報に関する各情報の設定を行います。

<table>
<tr><th colspan="3">画面の説明</th></tr>
<tr><td rowspan="4">送信ＴＲＡＰ設定</td><td>送信ＴＲＡＰ
コミュニティ</td><td>ＳＮＭＰマネージャなどに対し、発生したイベントを通知する際のコミュニティ名を設定します。
この設定値が合致しないと、ＳＮＭＰマネージャ側がＴＲＡＰを受け付けません。（※1）
デフォルト値：「public」</td></tr>
<tr><td>ＴＲＡＰ送信機能</td><td>ＴＲＡＰ通知機能の有効・無効を選択します。
他の設定項目をすべて登録しても本機能を有効にしなければ、ＴＲＡＰは送信されません。
デフォルト値：「無効」</td></tr>
<tr><td>ＴＲＡＰ送信先
ＩＰアドレス</td><td>ＴＲＡＰ送信先を設定します。
ＩＰアドレスを入力してください。</td></tr>
<tr><td>ＴＲＡＰ送信先
送信回数</td><td>ＴＲＡＰの送信の回数を設定します。一つのイベントに対して設定された送信回数分の同じＴＲＡＰを送出します。
送信回数は 0～10 回で、0 に設定するとＴＲＡＰを送信しません。
送信間隔は約 5 秒です。</td></tr>
<tr><td>設定ボタン</td><td colspan="2">入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。</td></tr>
</table>

※1　入力制限：　最大 31 文字。
　　入力可能文字：　半角の英数字

●送信ＴＲＡＰの詳細については、末項の「補足マニュアル（ＳＮＭＰ ＴＲＡＰ送信 ＯＩＤ 一覧）」をご参照ください。

5-11 受信ＴＲＡＰ設定画面

本機器は､ネットワーク経由で外部からのＳＮＭＰ ＴＲＡＰを受信することで表示灯およびブザーを制御することができます。

<table>
<tr><th colspan="3">画面の説明</th></tr>
<tr><td rowspan="3">受信ＴＲＡＰ設定</td><td>受信ＴＲＡＰ
コミュニティ
(※1)</td><td>外部から受信するＴＲＡＰのコミュニティを設定します。異なるコミュニティのＳＮＭＰ ＴＲＡＰは、無視します。
デフォルト値：″public″</td></tr>
<tr><td>ＴＲＡＰ受信
機能</td><td>本機能の有効・無効を設定します。無効に設定している場合は、一切のＳＮＭＰ ＴＲＡＰを受信しません。
デフォルト値：「無効」</td></tr>
<tr><td>受信ＴＲＡＰ
一覧へ</td><td>「受信ＴＲＡＰ一覧へ」をクリックすると受信ＴＲＡＰ一覧画面が表示されます。</td></tr>
<tr><td>設定ボタン</td><td colspan="2">入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。</td></tr>
</table>

※1　入力制限：　最大 31 文字。
　　　入力可能文字：　半角の英数字

5-12 受信ＴＲＡＰ一覧画面

現在設定されているＳＮＭＰ ＴＲＡＰ受信の設定一覧が表示されます。設定は、最大 16 件まで設定できます。画面には、最大 8 件まで表示されます。

画面の説明	
No.	“No.”をクリックすると、受信ＴＲＡＰ設定画面が開きます。この一覧に表示されるＴＲＡＰ番号やＴＲＡＰ名を設定することができます。
ＴＲＡＰ番号	受信するＴＲＡＰのＩＤ（ＭＩＢオブジェクトＩＤ）を表示します。このＩＤにより、ＴＲＡＰ送信元で発生しているイベント内容を識別します。
ＴＲＡＰ名	受信するＴＲＡＰの意味（内容）を表示します。
No.9 から No.16 へ (No.1 から No.8 へ)	No.9～16の設定を行いたい場合、「No.9からNo.16へ」をクリックして画面を切り替えてください。 戻るときは、同様に「No.1からNo.8へ」をクリックしてください。

＜工場出荷設定ＴＲＡＰについて＞

工場出荷設定では、下記のＴＲＡＰ登録済みです。
ただし、表示灯・ブザーの制御、メール・ＴＲＡＰの送信設定は、無効になって
いますので、必要時に、設定を行ってください。

画面の説明		
No.	オブジェクトID	ＴＲＡＰ内容
No.１	.1.3.6.1.6.3.1.1.5.1	Cold Start（起動）
No.２	.1.3.6.1.6.3.1.1.5.2	WarmStart（初期化）
No.３	.1.3.6.1.6.3.1.1.5.5	AuthenticationFailure（セキュリティ違反）
No.４	.1.3.6.1.2.1.33.2.1	UPS停電
No.５	.1.3.6.1.2.1.33.2.3	UPS故障追加
No.６	.1.3.6.1.2.1.33.2.4	UPS故障解除もしくは復電

上記登録済みＴＲＡＰは、ＴＲＡＰを発信する機器により、意味が異なります。
詳細は、発生機器のＴＲＡＰ内容を記載している取扱説明書を参照するか、それぞれのメーカに問い合わせしてください。

5-13 受信ＴＲＡＰイベント設定画面

受信ＴＲＡＰ一覧画面で No. をクリックすると表示されます。
受信ＴＲＡＰの種類およびＴＲＡＰ受信時の動作の詳細を設定します。

ネットワーク監視表示灯 - Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
戻る 検索 お気に入り メディア
アドレス(D) http://192.168.10.111/index.htm 移動 リンク Norton AntiVirus

PATLITE

システム設定
時刻設定
ユーザ設定
SNMP設定
rshサーバ設定
メール設定
送信TRAP設定
受信TRAP設定
PING設定
表示灯クリア設定
PHN-3FB設定
イベントログ
状態表示
コンフィグ設定
テストおよび再起動
ログアウト

受信TRAPイベント設定

TRAP監視設定 No.1	
TRAP番号	1.3.6.1. 6.3.1.1.5.1
TRAP名	
IPアドレス	0.0.0.0

TRAP受信時の動作設定	
赤	変化なし
黄	変化なし
緑	変化なし
青	変化なし
白	変化なし
ブザー	変化なし
メール	○有効 ◉無効
TRAP	○有効 ◉無効

受信TRAP一覧へ

設 定　キャンセル

インターネット

画面の説明		
ＴＲＡＰ監視設定 No. ～	ＴＲＡＰ番号	外部から受信するＴＲＡＰの種類（ＭＩＢオブジェクトＩＤ）を指定します。 (※1)
	ＴＲＡＰ名	ＴＲＡＰ番号の意味（内容）がわかるように名前を登録します。（一覧表示画面に表示されます。） 入力文字制限：31文字以内の半角英数字、または、15文字以内の日本語
	ＩＰアドレス	ＴＲＡＰ受信を許可する送信元のＩＰアドレスを指定します。 (※1)

※1　ＴＲＡＰ番号を登録し、ＩＰアドレスを指定しなかった場合、送信元のＩＰアドレスに関わらず、登録されたＴＲＡＰを受信します。
また、ＩＰアドレスを登録し、ＴＲＡＰ番号を指定しなかった場合、登録したＩＰアドレスの機器から送信されるすべてのＴＲＡＰを受信します。
ただし、これらの設定は、本装置に非常に負荷のかかる設定になります。
なるべく、ＴＲＡＰ番号とＩＰアドレスの両方を設定するようにしてください。

画面の説明		
ＴＲＡＰ受信時の動作設定	赤、黄、緑、青、白	指定したＴＲＡＰ受信時の取り付けられた色の動作設定を行ってください。 取り付けられていない色の設定を行っても状態は変化しません。 消灯：指定色の表示灯を消します。 点灯：指定色の表示灯を点灯させます。 点滅：指定色の表示灯を点滅させます。 変化なし：指定色の表示灯は、現状のまま変化しません。
	ブザー	ブザー音の動作設定を行います。 消音：現在鳴っているブザーを止めます。 吹鳴パターン１：パターン1でブザーを鳴らします。 吹鳴パターン２：パターン2でブザーを鳴らします。 変化なし：現状のまま変化しません。 パターン1：ピピピピピピ パターン2：ピーピーピー
	メール	有効に設定すると指定ＴＲＡＰ受信時にメールを送信します。実際のメール通知先等の設定は、「5-8 メール設定」画面で行います。無効の場合は、送信しません。
	ＴＲＡＰ	有効に設定すると指定ＴＲＡＰ受信時にＴＲＡＰを送信します。 送信先は、「5-10 送信ＴＲＡＰ設定」で行います。無効の場合は、送信しません。
	受信ＴＲＡＰ一覧へ	受信ＴＲＡＰ一覧画面に戻ります。 他のＴＲＡＰ送信元を設定する場合､受信ＴＲＡＰ一覧画面に戻ってから登録する「No.」をクリックしてください。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。	

5-14 ＰＩＮＧ監視一覧画面

ネットワークに接続されたサーバやネットワーク機器の死活監視（ＰＩＮＧ応答要求）を行う場合に設定します。異常時に、表示灯とブザーによる通知を行えます。また、電子メールやＳＮＭＰ ＴＲＡＰを送信することも可能です。

「ＰＩＮＧ設定」メニューを選択すると、「ＰＩＮＧ監視一覧」画面が表示されます。

画面の説明	
ＰＩＮＧ監視一覧	登録されている監視対象が一覧表示されます。最大で１６台までの監視対象を登録することができます。
No.～	新たに監視対象を追加したい場合は、空白行の先頭の「No.」をクリックしてください。 すでに登録されている監視対象に関する情報を編集したい場合は、その行の先頭の「No.」をクリックします。
ＩＰアドレス	監視対象のＩＰアドレスを表示します。 ＰＩＮＧ監視設定画面で登録します。
装置名	監視対象機器名を表示します。 ＰＩＮＧ監視設定画面で登録します。
No.9 から No.16 へ （No.1 から No.8 へ）	No.9～16の設定を行いたい場合、「No.9からNo.16へ」をクリックして画面を切り替えてください。 戻るときは、同様に「No.1からNo.8へ」をクリックしてください。

5-15 ＰＩＮＧ監視設定画面

ＰＩＮＧ監視に関する詳細設定を行います。

ＰＩＮＧ異常発生時、異常解除時の表示灯・ブザーの動作設定やメール・ＴＲＡＰの送信設定を行います。

画面の説明		
ＰＩＮＧ監視設定 No.	ＩＰアドレス	監視対象のＩＰアドレスを指定します。
	装置名	監視対象を識別するための名前を付けることができます。（※1）
	送信回数	ＰＩＮＧ応答の異常判定回数（0～99）を指定します。ＰＩＮＧ応答が連続してこの回数分なければ、監視対象は異常と見なされます。この値が0の場合、ＰＩＮＧ監視を行いません。
ＰＩＮＧ異常検出時の動作設定	ＰＩＮＧ異常発生時と異常解除時の動作についてそれぞれ設定を行います。 選択肢項目の意味については、「5-13 受信ＴＲＡＰイベント設定」のＴＲＡＰ受信時の動作設定を参照してください。	
ＰＩＮＧ監視一覧へ	ＰＩＮＧ監視一覧画面に戻ります。 他の監視対象を設定する場合、ＰＩＮＧ監視一覧画面に戻ってから登録する「No.」をクリックしてください。	
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。	

※1　入力制限：　最大31文字。
　　　入力可能文字：　半角の英数字、アンダースコア（ ＿ ）、ハイフン（ － ）、
　　　　　　　　　　　アットマーク（ ＠ ）、ピリオド（ . ）

注意：ＰＩＮＧ応答要求の送信間隔は60秒（固定）です。

注意：異常発生によって変化した表示灯やブザーの状態は、「ＣＬＥＡＲ」ボタンでＣＬＥＡＲできます。ただし、異常状態が継続している場合は、再び異常検出し、表示灯やブザーが異常状態を表示します。

5-16 表示灯クリア設定画面

表示灯の点灯、点滅を消灯させたり、ブザー音を停止させるためには、本体のＣＬＥＡＲスイッチ押下、ＳＮＭＰによる制御、ｒｓｈコマンド実行の３つの方法があります。
ここでは、それぞれのＣＬＥＡＲ処理が実行された時に、メール送信やＴＲＡＰ送信による通知の有無を設定します。

また、本体のＣＬＥＡＲスイッチの働きを選択することができます。

画面の説明	
本体クリアスイッチ押下	本体クリアスイッチ押下時のメール送信、ＴＲＡＰ送信の有効・無効を選択します。
ＳＮＭＰクリア実行	ＳＮＭＰ SETにより、クリア実行された時のメール送信、ＴＲＡＰ送信の有効・無効を選択します。
ｒｓｈコマンド実行	ｒｓｈコマンドにより、クリア実行された時のメール送信、ＴＲＡＰ送信の有効・無効を選択します。

メール送信先の設定は、「5-8 メール設定」画面にて行い、ＴＲＡＰ送信先の設定は、「5-10 送信ＴＲＡＰ設定」画面にて行います。

画面の説明	
クリアスイッチ設定	本体ＣＬＥＡＲスイッチを押下した時の動作を下記、２種類から選択します。 ２段階クリア： 　１回目にブザー音のみ停止し、２回目で表示灯を消灯させます。 一括クリア： 　１回押下すると、ブザー音を停止するとともに、表示灯も消灯させます。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。

本体ＣＬＥＡＲスイッチにより、表示灯のクリア処理を実行する場合、スイッチを 0.5 秒以上長押ししてください。

スイッチ復帰後約 2 秒以上あけなければスイッチ押下しても動作しません。

5-17 PHN-3FB 設定設定画面

本機器は、株式会社パトライト社製 PHN-3FB 型の制御コマンドを受け付けるように作られています。「PHN-3FB 設定」メニューを選択すると、「PHN-3FB コントロールポート設定」画面が表示されます。

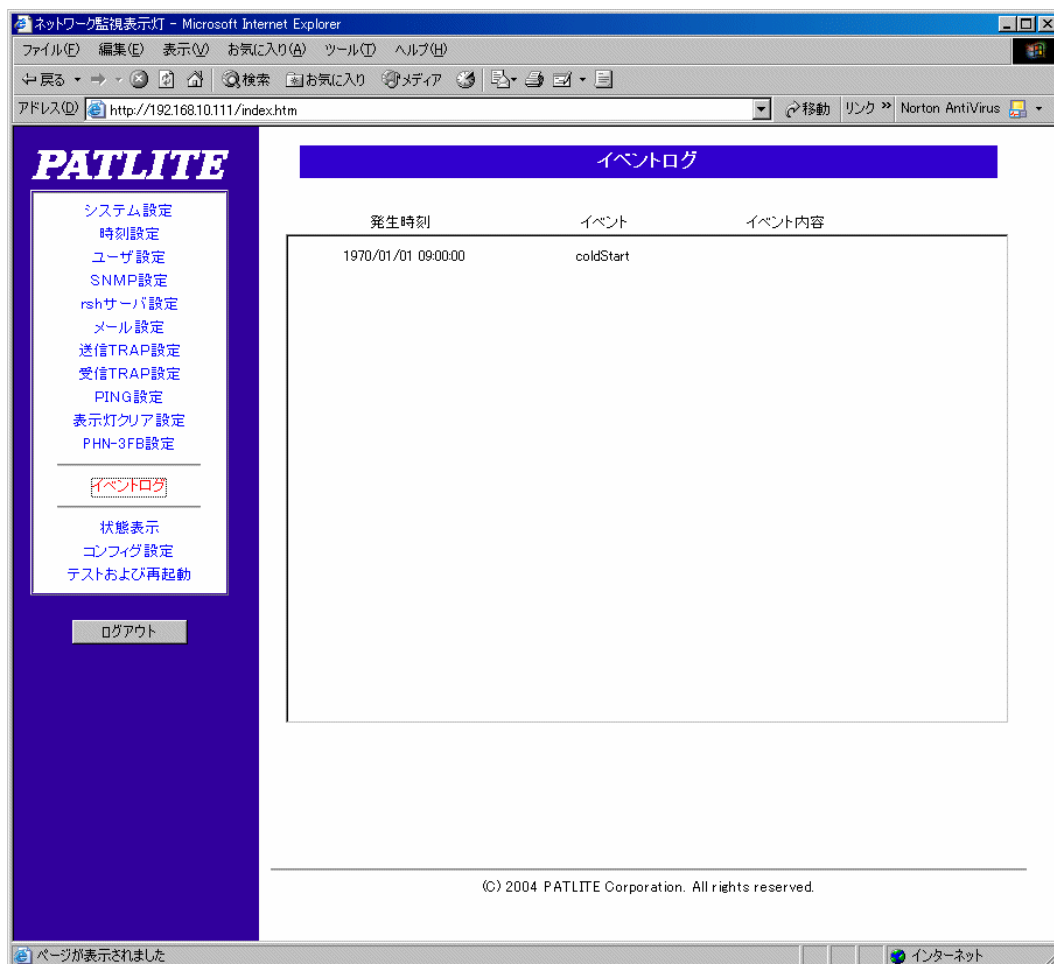
ここでは、PHN-3FB の制御コマンドとの通信に使うポート番号を指定します。

画面の説明		
ＰＨＮ－３ＦＢ コントロールポート	ポート番号	PHN-3FB の制御コマンドとの通信に使うポート番号を指定します。（※1） この設定を反映させるためには、本体の再起動が必要です。
設定ボタン	入力後、クリックすると設定が変更されます。 設定ボタンをクリックする前に、キャンセルボタンをクリックすると、変更箇所が入力前に戻ります。	

※1　入力制限：　10000～65535

5-18 イベントログ画面

本機器は、イベントログを残すことができます。
保持できる最大ログ件数は 256 件です。
最新のイベントログから順に表示され、256 件を超える古いログは順次削除されます。

また、保持しているイベントログは、電源が切れたり、ＲＥＳＥＴスイッチを押したりすると、すべて消去されますのでご注意ください。

イベントログ画面はＪＡＶＡを使用しています。画面が表示されない場合はＪＡＶＡがインストールされているか、ＷｅｂブラウザのＪＡＶＡの機能が有効になっているか確認してください。

画面の説明	
発生時刻	イベントが発生した時刻を表示します。
イベント	発生したイベント名を表示します。
イベント内容	発生したイベントの概要を表示します。

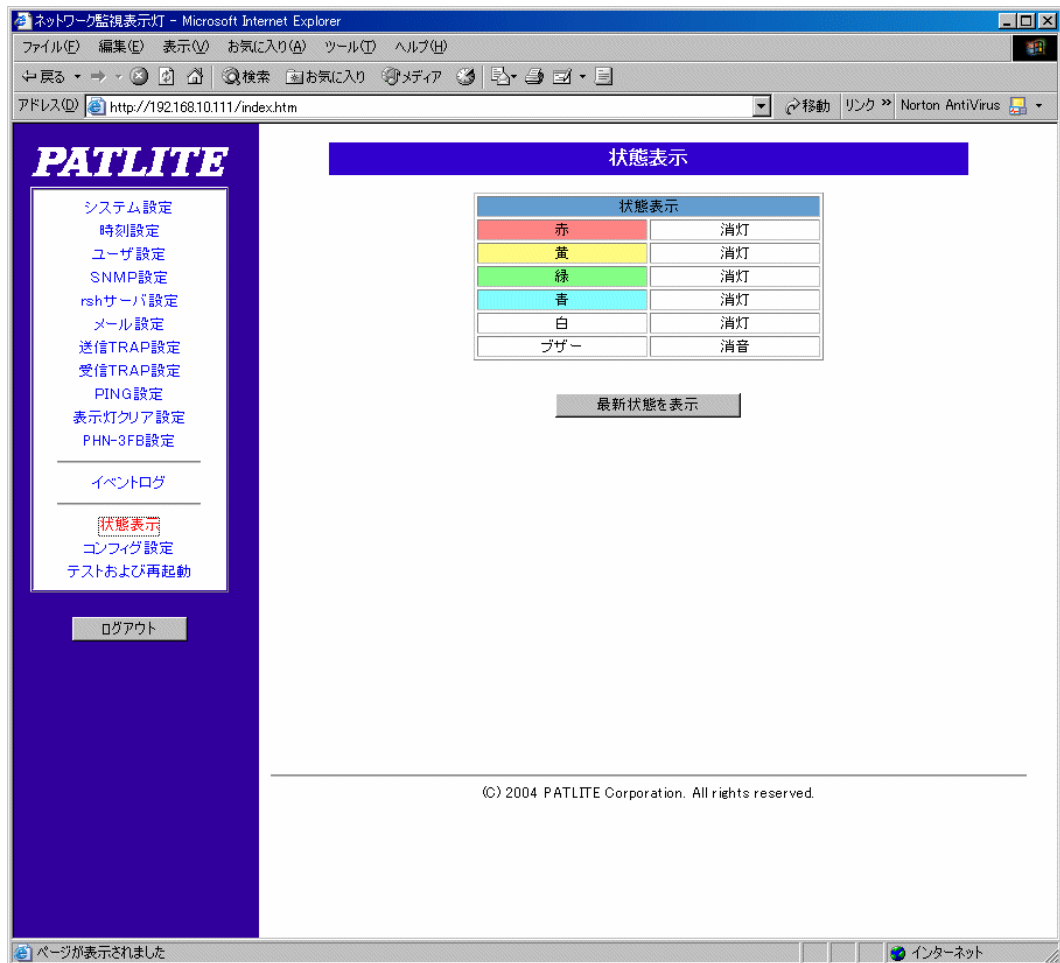
イベントの詳細については、次項「イベント一覧」を参照してください。

＜イベント一覧＞

イベントの種類		イベントログ表示	
		イベント	イベント内容
本体電源 ON		coldStart	表示なし
不正アクセス		ACCESS	表示なし
メール送信エラー	通信タイムアウト	ＭＡＩＬ	“通信タイムアウト”
	サーバ接続失敗		“サーバ接続失敗”
	ＰＯＰ認証失敗		“ＰＯＰ認証失敗”
死活監視（ＰＩＮＧ監視）	無応答	ＰＩＮＧ	“ＰＩＮＧ監視異常”の表記と共にサーバのＩＰアドレスを表示。
	応答再開		“ＰＩＮＧ異常解除” の表記と共にサーバのＩＰアドレスを表示。
ＴＲＡＰ受信		ＴＲＡＰ	“ＴＲＡＰ受信” の表記と共に受信ＴＲＡＰ設定画面の設定番号を表示。
表示灯クリア	本体スイッチ	ＣＬＥＡＲ	“本体スイッチ”
	ＳＮＭＰ		“ＳＮＭＰ” の表記と共にＩＰアドレスを表示
	ｒｓｈ		“ＲＳＨ” の表記と共にＩＰアドレスを表示
ｒｓｈコマンド	alert	ＲＳＨ	“アラート”の表記と共にコマンドの引数とｒｓｈ設定画面の接続許可制限の番号を表示。
	status		“ステータス”
	test		“テスト”
ＳＮＭＰ制御		ＳＮＭＰ	“ＣＯＮＴＲＯＬ”の表記と制御した表示灯の色（または、ブザー）と制御元のＩＰアドレス

（注）イベントログは自動的に記録されたものを表示・閲覧するだけで、イベント内容等の編集・変更はできません。

5-19 状態表示画面

本機器は、表示灯とブザーの状態をブラウザ上でも確認することができます。

画面の説明		
状態表示	赤、黄、緑、青、白	各色（赤、黄、緑、青、白）の表示灯の状態（消灯、点灯、点滅）を表示します。 実際には、使用されていない色の状態も常に表示されます。
	ブザー	ブザーの状態（消音、吹鳴パターン 1、吹鳴パターン 2）を表示します。
最新状態を表示	「最新状態を表示」ボタンをクリックすると、表示内容が最新の状態に更新されます。	

（注）実際に使用されていない色がある場合、点灯・点滅の表示がされる場合があります。これは、過去に使用されていない色を点灯・点滅する命令が発せられたことが本機器の状態表示の記憶部分に記録されているためです。対応策としては、使用されていない色に対しては点灯・点滅の命令を送らないように、再度確認をしてください。

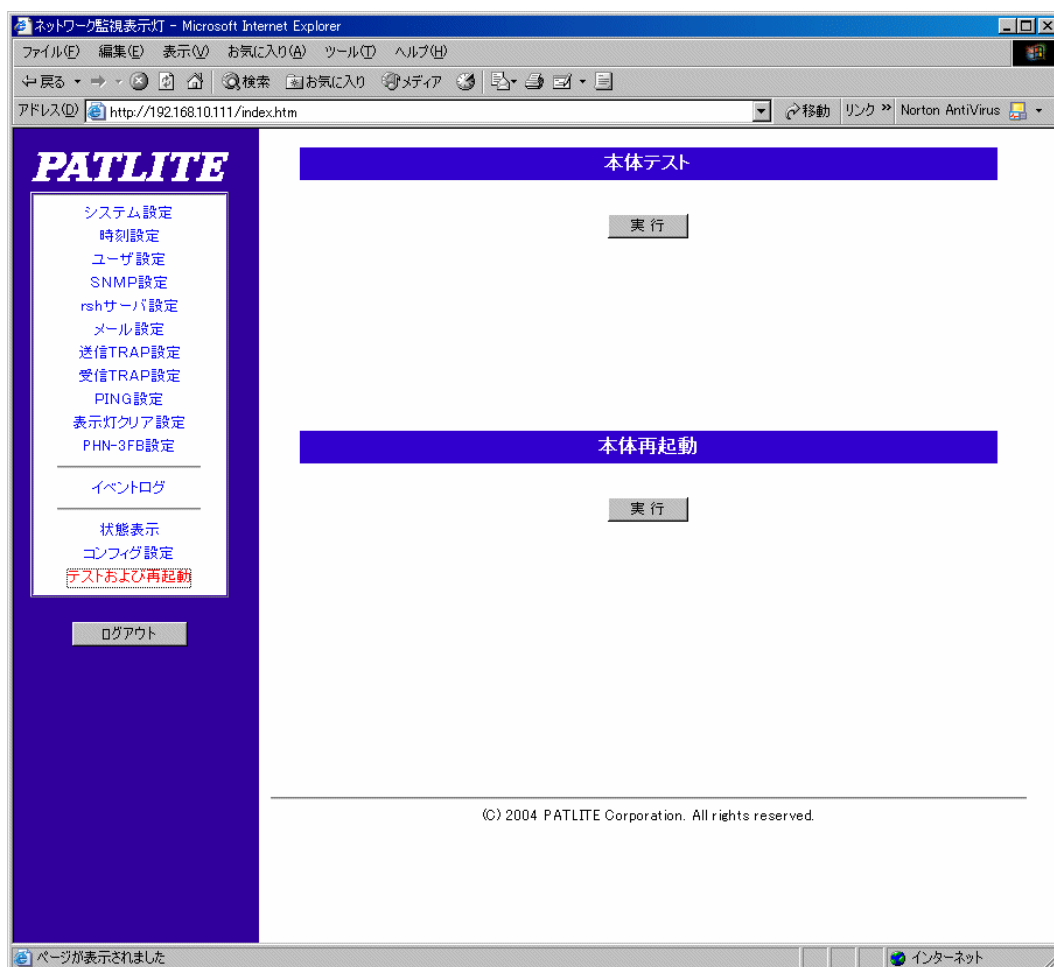
5-20 コンフィグ設定画面

本機器は、本体に設定された情報（コンフィグデータ）をコンピュータ側に読み込み（保存し）、保存した設定情報を本体に書き込むことができます。
この機能により、初期化してしまった場合、以前の状態に復帰させたり、同様の設定を別の表示灯に設定することができます。
ただし、ＩＰアドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイおよびログインパスワードの設定情報は保存および書込みを行いません。

画面の説明		
コンフィグデータ読込み	読込みボタン	接続中の表示灯から設定情報を読込みます。設定情報（ファイル）の保存先のフォルダをあらかじめ作成した後保存してください。
コンフィグデータ書込み	ファイル名	コンフィグデータの読込みを行い、保存したファイル名を指定します。
	参照ボタン	設定情報（ファイル）を探すときに利用してください。
	書込みボタン	「ファイル名」欄で指定したファイル（設定情報）を表示灯に書込みます。

「コンフィグデータ読込み」機能を使って保存したファイルを編集して書込みを行った場合の動作は保証できません。コンフィグデータ以外のデータ（ファイル）を書き込んではいけません。
また、データの書込み中に、Ｗｅｂブラウザからアクセスすると、正常に、データ更新できない場合がありますので、その場合は、再度、書込みをやり直してください。書込み後は自動的に再起動されます。

5-21 テストおよび再起動画面

「テストおよび再起動」メニューを選択すると、「本体テスト」および「本体再起動」画面が表示されます。

画面の説明	
本体テスト	本体テストの「実行」ボタンをクリックすると、本機器のセルフテストが実施されます。 表示灯が赤⇒黄⇒緑⇒青⇒白の順に点灯し（ＬＥＤユニットが装着されている場合）、ブザーが鳴ります。 本体スイッチ、ｒｓｈ、ＳＮＭＰにより、クリア処理が実行されるまで、この状態を保持します。
本体再起動	本体再起動の「実行」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。 注意：本体再起動を行うと、装置時刻は初期化され、イベントログは全て消去されます。 注意：再起動には２分程度の時間がかかります。再起動後は、Ｗｅｂ接続が切断されますから、必要に応じてログインし直してください。

コマンドリファレンス

6-1　ｒｓｈコマンド一覧

ｒｓｈコマンドにより表示灯を制御する方法について説明します。

コマンド一覧

(1)　alert　表示灯とブザーの制御

(2)　status　状態取得

(3)　clear　表示灯の消灯およびブザーの停止

(4)　test　動作テスト

6-2 コマンドリファレンス

ｒｓｈコマンド入力方法

```
#  rsh  IP_Address  [-l login_name]  Command  [options]
```

(1) 表示灯とブザーの制御： alert rygbcz [sec]

表示灯とブザーの状態を変化させます。

コマンド実行後の表示灯とブザーの状態を標準出力に返します（参照：status コマンド）。

オプション説明：

種類	説明
rygbcz	表示灯の点灯/点滅、ブザーの吹鳴/停止の制御
r	赤色の消灯(0)、点灯(1)、点滅(2)、変化せず(9)
y	黄色の消灯(0)、点灯(1)、点滅(2)、変化せず(9)
g	緑色の消灯(0)、点灯(1)、点滅(2)、変化せず(9)
b	青色の消灯(0)、点灯(1)、点滅(2)、変化せず(9)
c	白色の消灯(0)、点灯(1)、点滅(2)、変化せず(9)
z	ブザーの消音(0)、吹鳴パターン1(1)、吹鳴パターン2(2)、変化せず(9)
sec	sec 秒後に表示灯とブザーをコマンド実行前の状態に復旧させる。0～99 の整数が定義可能であり、0 または省略時はコマンド実行前状態に復旧しない。

使用例：

●赤色点灯、他は変更なし
rsh 192.168.10.1 -l root alert 199999
●赤色消灯、黄色点滅ブザー吹鳴パターン１
rsh 192.168.10.1 -l root alert 029991
●緑色点灯後、30 秒後に実行前の状態に戻る
rsh 192.168.10.1 -l root alert 991999 30

(2) 状態取得： status

現在の表示灯とブザーの状態を標準出力に返します。

返値説明：

rygbcz	表示灯とブザーの状態を表す文字列
rygb c	赤色の消灯(0)、点灯(1)、点滅(2)
z	ブザーの消音(0)、吹鳴パターン1(1)、吹鳴パターン2(2)

(3) 表示灯クリアー： clear [-p] [-z]

表示灯とブザーの状態を初期状態に戻します。

オプション説明：

種類	説明
-p	表示灯の消灯(全消灯)
-z	ブザーの停止(消音)
なし	表示灯の消灯およびブザーの停止

(4) 動作テスト： test

システムの機能テストを行います。

テストフロー：

① rygbcの順に点灯

② ブザー吹鳴

③ CLEARスイッチを押下するまで、点灯・吹鳴を続ける。

※rshなどコマンドを使用しての解除動作は行えません。

ＳＮＭＰ
エージェント機能

7-1 ＳＮＭＰエージェント機能

・本機器はＳＮＭＰエージェント機能を実装しております。

・ＳＮＭＰ ＧＥＴ、ＳＥＴに対する応答機能、ＳＮＭＰ ＴＲＡＰ送信機能を有しています。

・ＳＮＭＰのバージョンはＳＮＭＰ Ｖ２Ｃですが、ＧＥＴＢＵＬＫ、ＢＵＬＫＷＡＬＫは実装しておりません。

・本機器は標準ＭＩＢ（ＭＩＢ－２：sys、if、at、ip、icmp、tcp、udp、snmp の各グループ）および弊社独自の専用表示灯制御ＭＩＢを搭載しております。専用表示灯制御ＭＩＢを用いることにより、本機器の状態を取得したり、表示灯の点灯・消灯を制御したりすることができます。

・デフォルトのコミュニティ名は以下の通りです。

コミュニティ種類	説明	デフォルト値
ＧＥＴ	ＳＮＭＰ ＧＥＴ要求時に使用するコミュニティ名	public
ＳＥＴ	ＳＮＭＰ ＳＥＴ要求時に使用するコミュニティ名	private
ＴＲＡＰ	ＳＮＭＰ ＴＲＡＰ送信時に使用するコミュニティ名	public

7-2 ＳＮＭＰ ＳＥＴによる制御

ＳＮＭＰ ＳＥＴコマンドにより本体設定情報を変更したり、表示灯およびブザーを制御したりすることができます。

制御可能なＭＩＢの詳細は、同梱のＣＤに収録の専用表示灯制御ＭＩＢファイルを参照してください。ここでは表示灯の点灯・消灯およびブザー吹鳴・停止の制御例を示します。

使用例１：赤色の点灯

以下のようにセットする。

オブジェクト	オブジェクト ID	値
controlLightControlState	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.2.1	2
controlLightControlTimer	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.3.1	0

使用例２：赤色消灯、5 秒後に黄色点滅、10 秒後にブザー吹鳴パターン１

以下のようにセットする。

オブジェクト	オブジェクト ID	値
controlLightControlState	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.2.1	1
controlLightControlState	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.2.2	3
controlLightControlState	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.2.6	2
controlLightControlTimer	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.3.1	0
controlLightControlTimer	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.3.2	5
controlLightControlTimer	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.2.1.3.6	10

使用例３：表示灯クリア

以下のようにセットする。

オブジェクト	オブジェクト ID	値
controlLightSnmpClear	1.3.6.1.4.1.20440.4.1.5.1.3.0	1

補修部品

8-1 補修部品一覧

お求めの際は、取扱説明書「１－３外観と各部の名称」を参照のうえ、
お買い求めの販売店へお問い合わせください。

ＮＨＥ型

Ｎｏ	品　　名	部品番号
⑧	ヘッドカバー	Ｂ32310020-Ｆ1
⑨	センターネジ５段	Ｓ33552110-03166Ｆ1
⑨	センターネジ４段	Ｓ33552110-03138Ｆ1
⑨	センターネジ３段	Ｓ33552110-03106Ｆ1
⑨	センターネジ２段	Ｓ33552110-0376Ｆ1
⑨	センターネジ１段	Ｓ33552110-0346Ｆ1
⑩	カバーシール	Ｔ93190007-Ｆ1
⑪	ＬＥＤユニット赤色	Ｂ72100098-1Ｆ1
⑪	ＬＥＤユニット黄色	Ｂ72100098-2Ｆ1
⑪	ＬＥＤユニット緑色	Ｂ72100098-3Ｆ1
⑪	ＬＥＤユニット青色	Ｂ72100098-4Ｆ1
⑪	ＬＥＤユニット白色	Ｂ72100098-7Ｆ1
⑫	ＡＣアダプター	－

ＮＨＭ型

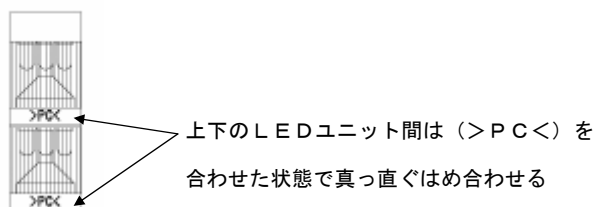
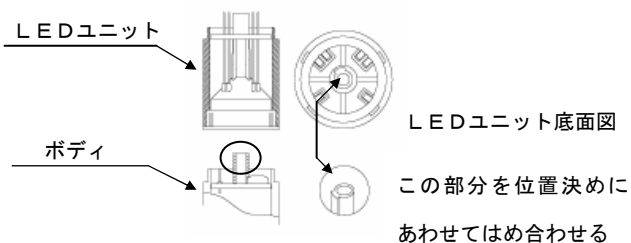
Ｎｏ	品　　名	部品番号
⑧	ヘッドカバー	Ｂ32310022-Ｆ1
⑨	センターネジ５段	Ｓ33552120-04220Ｆ1
⑨	センターネジ４段	Ｓ33552120-04180Ｆ1
⑨	センターネジ３段	Ｓ33552120-04140Ｆ1
⑨	センターネジ２段	Ｓ33552120-04100Ｆ1
⑨	センターネジ１段	Ｓ33552120-0455Ｆ1
⑩	カバーシール	Ｔ93190007-Ｆ1
⑪	ＬＥＤユニット赤色	Ｂ72100073-1Ｆ1
⑪	ＬＥＤユニット黄色	Ｂ72100073-2Ｆ1
⑪	ＬＥＤユニット緑色	Ｂ72100073-3Ｆ1
⑪	ＬＥＤユニット青色	Ｂ72100073-4Ｆ1
⑪	ＬＥＤユニット白色	Ｂ72100116-7Ｆ1
⑫	ＡＣアダプター	―

色配列組替え方法

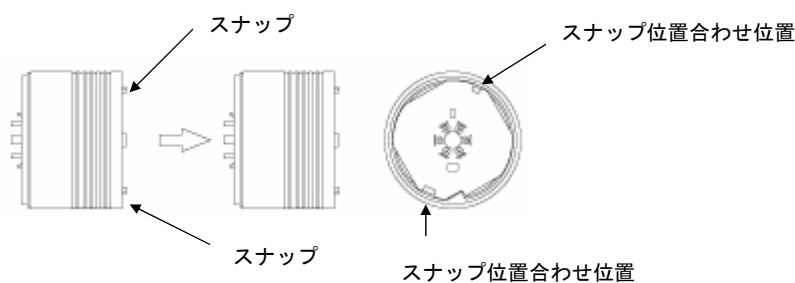
9-1 色配列組替え方法

ＮＨＥ型

・組み替え作業は、必ず電源を切ってからおこなってください。
・ヘッドカバーの中心にあるカバーシールを剥がし、中央にあるセンターネジをゆるめて、ヘッドカバーをはずしてください。
・上下のＬＥＤユニット間はスナップにより位置決めされているので、スナップ位置を合わせておこなってください。
　※ＬＥＤユニット表面の刻印（＞ＰＣ＜）を合わせる要領でおこなってください。
・最下段のＬＥＤユニットは本体中央にある支柱とＬＥＤユニットの中央部の位置決めを合わせておこなってください。
・増段・減段をおこなう場合は、段数にあわせてセンターネジの変更も必要になります。センターネジは、補修部品一覧表をご参照ください。

・ＬＥＤユニットを組みあげたあとは、段数にあわせたセンターネジでヘッドカバーの上から締めて下さい。その際、カバーシールを元の位置に貼ってください。
・１台の中で同色ＬＥＤユニットを使用した場合は同時に点灯します。
・同色のＬＥＤユニットは、１台あたり３段までしか組み合わせはできません。

- 無理なＬＥＤユニットの脱着はおこなわないでください。破損する恐れがあります。
- ＬＥＤユニット及び本体にある電極ピンに無理な力をかけないでください。電極ピンが曲がり、接触不良やショートの原因になります。

ＮＨＭ型

・組み替え作業は、必ず電源を切ってからおこなってください。
・ヘッドカバーの中心にあるカバーシールを剥がし、中央にあるセンターネジをゆるめて、ヘッドカバーをはずしてください。
・上下のＬＥＤユニットは２本のスナップにより位置決めされているので、スナップ位置を合わせておこなってください。
　※ＬＥＤユニット表面の刻印（＞ＳＡＮ＜）を合わせる要領でおこなってください。
・ＬＥＤユニットを増段・減段をおこなう場合は、段数にあわせてセンターネジの変更も必要になります。センターネジは、補修部品一覧表をご参照ください。
・ＬＥＤユニットを組みあげたあとは、段数にあわせたセンターネジでヘッドカバーの上から締めて下さい。その際、カバーシールを元の位置に貼ってください。
・１台の中で同色ＬＥＤユニットを使用した場合は同時に点灯します。
・同色のＬＥＤユニットは、１台あたり３段までしか組み合わせはできません。

- 無理なＬＥＤユニットの脱着はおこなわないでください。破損する恐れがあります。
- センターネジをゆるめた状態でＬＥＤユニット・ヘッドカバーがはずれやすいため、落下し破損することのないよう取扱いに注意してください。
- ＬＥＤを手でゆがめたり、破損させないようにしてください。

製品サポートについては、下記にて受け付けております。

技術相談窓口: （無料）フリーコール **0120-497-090**

受付9:00～17:00（日・祝日は留守番電話による対応） FAX 06−6763−8989

ハードウェアの故障などにより製品修理をご依頼いただく場合、弊社作業上、IPアドレスなどの本体諸設定情報は初期化してのご返却となります。ご面倒ですが、必ずお客様で設定いただきました諸設定情報の控えをとっていただき、ご返却後お客様にて再設定を行っていただきますようお願いいたします。

世界中に「安心・安全・楽楽」をお届けする

株式会社 パトライト　Y2V

PATLITE Corporation

本　　社 / 〒542-0067　大阪市中央区松屋町8-8
東　　京 / 〒104-0033　東京都中央区新川2-12-15　■TEL. 03(5541)6711
仙　　台 / 〒983-0852　仙台市宮城野区榴岡3-7-35　■TEL. 022(256)5656
関　　東 / 〒330-0801　埼玉県さいたま市大宮区土手町2-15-1　■TEL. 048(640)2020
横　　浜 / 〒222-0033　横浜市港北区新横浜2-17-2　■TEL. 045(473)1118
名 古 屋 / 〒461-0004　名古屋市東区葵3-15-31　■TEL. 052(934)2211
大　　阪 / 〒542-0067　大阪市中央区松屋町8-8　■TEL. 06(6763)8800
広　　島 / 〒733-0011　広島市西区横川町2-9-1　■TEL. 082(297)2277
福　　岡 / 〒812-0013　福岡市博多区博多駅東2-13-34　■TEL. 092(474)8111

International Division Sales & Marketing Department
Division Internationle Département De Vente & Marketing
8-8 Matsuya-machi, Chuo-ku, Osaka 542-0067 JAPAN　■TEL. +81-6-6763-8220

PATLITE (U.S.A.) Corporation
20130 S. Western Avenue, Torrance, CA 90501 U.S.A.　■TEL. +1-310-328-3222

PATLITE (SINGAPORE) PTE LTD
2 Havelock Road, #05-01/02 Apollo Centre, Singapore 059763　■TEL. +65-6226-1111

PATLITE (CHINA) Corporation
Block E,No.9 FL,Hua Du Bldg.,No.828-838 Zhang Yang Road,Pudong Dist.,Shanghai 200122,China　■TEL. +86-21-6876-1533

PATLITE Corporation/European Office
Teinfaltstrasse 8/4 Stock, 1010, Vienna, Austria　■TEL. +43-1-961-0655

※電話番号などは、変更されることがあります。最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

http://www.patlite.co.jp

受付時間 9:00～17:00　●技術相談窓口（無料）■フリーコール 0120(497)090（シグナル オクレ）■FAX. 06(6763)8989
日/祝祭日と夏期/年末年始の休日は、留守番電話でお受けいたします。※ご注文・価格・商品内容等は、各営業所拠点または代理店にお問い合わせください。

NHシリーズ　SNMP送信TRAP番号（ObjectID）一覧

TRAP要因	TRAP名	TRAP番号
PING異常が発生した時	trapPatliteAlarmAdded	(.1.3.6.1.)4.1.20440.4.1.6.1
PING異常が回復した時	trapPatliteAlarmRemoved	(.1.3.6.1.)4.1.20440.4.1.6.2
TRAPを受信した時	trapPatliteTrapReceived	(.1.3.6.1.)4.1.20440.4.1.6.3
CLEARボタンを押し下げた時	trapPatliteClearExecuted	(.1.3.6.1.)4.1.20440.4.1.6.4
RSHコマンドを実行した時	trapPatliteRshExecuted	(.1.3.6.1.)4.1.20440.4.1.6.5
システムが起動（初期化）した時	coldStart	genericTrap : 0
間違ったコミュニティ名を持つ SNMPメッセージを受け取った時	authenticationFailure	genericTrap : 4